

俳句を楽しむ会

夏季作品
優秀作発表



お茶の持つ味と香りを
最大限に引きだし
時間をかけ
ていねいに仕上げました

和(なごみ)シリーズ

和(なごみ)

和(なごみ)抹茶入り

和(なごみ)黒



達筆の亡母の文読む夜の紅茶

(甲府)三枝 風樹

お手紙や日誌などに、美しい文字で文章を綴られたお母さん。亡くなられて久しいが、家族のお茶の時間など、折々取り出して来てはなつかしむ。お母さんが特に好まれた紅茶がおいしい。

名苑を愛でつ銘茶の夏座敷

(大月)武川 幹雄

附近に評判のよい、個人の庭園でもあろうか。所要に呼び出されての訪問。障子などは取り外し、風通しをよくした夏座敷の正面。銘茶をいただきながらの景観は最高。

茶の席に父の声無し盆迎え

(甲府)村上 雄二

お盆は一般的には七月十三日が迎え盆、迎え火を焚いた後、家族揃ってお茶の席となるが、今年にはぎやかだったお父さんの声が聞こえない。ご世界されたのであろうか。いつもの声の聞こえない淋しさ。今回の募集の中に、そのような句を他にもいくつか拝見した。ご冥福をお祈りする。

お茶供え黙祷長き震災忌

(大月)武川 幹雄

毎朝、神棚や仏壇に、お茶を供えているご家庭かも知れない。九月二日は震災忌とされている。線香をあげお茶をあげ、長い黙祷。他のご家庭でもこの時間、お祈りを捧げて居られる処が多いのかも知れない。深くご冥福をお祈りする。

鹿の害老いの賛辞となる茶会

(身延)小林 恭子

句の添書に「老人が茶飲みに集まり、その話題といえは、農作物は言うに及ばず、花までも食いやる鹿の勢いにあきれ果てる。よくもまあ、やってくるよね」と、哀しい賛辞に変わった。

佳作

背筋立て麦茶飲み干す生身魂
(甲斐)松田 健嗣

風爽か新茶の色の香り合ふ
(甲府)米山 正雄

過疎の村遅き朝茶や閑古鳥
(富士川)功刀 広

帰燕覗え縁側先で和みの茶
(甲斐)石川 凡雄

真夏日や茶にいやされて七十路を
(北杜)矢崎きよみ

幼子の覚えたてなる茶摘唄
(都留)磯村 璋一

汗をふき麦茶飲む子に笑顔あり
(甲府)笹本好美

猛暑日もエアコン入れて熱いお茶
(笛吹)植松自由人

秋晴れの片手に緑茶目に紅葉
(南アルプス)松田 洋子

賜りし和みのお茶で夏休
(甲斐)越智 弘子

次回作品募集のご案内

- 次の応募締切は十二月三十一日(水)消印有効になります。
- テーマは、寒い中でお茶や紅茶が親しまれるシーンを表現した俳句を募集します。
- 応募頂いた作品の中から優秀な作品には素敵なプレゼントを用意しています。
- 発表は年四回新聞広告にて発表します。
- 選者は県内で俳句活動を行われている渡辺柳風先生にお願いいたします。
- (先生には選考にあたり表現上の添削もお願いしております。ご了承下さい)

方法 ●ハガキで愛和園本店まで郵送していただくか、左記直売店までお持ちください。お一人様何点でも応募できます。●応募いただく作品は未発表の物に限ります。また、応募作品は返却いたしません。●作品には応募者の住所、氏名、年齢、電話番号をご記入ください。ペンネームで応募される方はペンネームの下に(本名を括弧で囲んでください)。

味と香りのコミュニケーション

ひこわ園

直売店 ●太田町本店 ●湯村店 ●山交店 ●リバーシティ店

本店 山梨県甲府市太田町四一七
TEL・055(235)5075

ご応募いただく個人情報に入選作品のプレゼント発送に利用します。また、愛和園からの季節の知らせにも利用させていただきます。必ず必要でない方は、その旨応募時のハガキ表面に記入願います。この目的以外での個人情報利用は行いません。